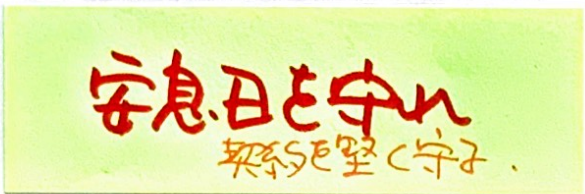


56

- 1 主はこう言われる、
 「あなたがたは公平を守って正義を行え。
 わが救の来るのは近く、
 わが助けのあらわれるのが近いからだ。」
- 2 安息日を守って、これを汚さず、
 その手をおさえて、悪しき事をせず、
 このように行う人、
 これを堅く守る人の子はさいわいである。」
- 3 主に連なっている異邦人は言ってはならない、
 「主は必ず私をその民から分けたれる」と。
 宦官もまた言ってはならない、
 「見よ、私は枯れ木だ」と。
- 4 主はこう言われる、
 「わが安息日を守り、わが喜ぶことを選んで、
 わが契約を堅く守る宦官には、
 5 わが家のうちで、わが垣のうちで、
 6 必ずこにも娘にもまさる記念のしるしと名を与え、
 絶えることのない、とこしえの名を与える。」
- 6 また主に連なり、主に仕え、
 主の名を愛し、そのしもべとなり、
 すべて安息日を守って、これを汚さず、
 わが契約を堅く守る異邦人は――
 7 私はこれをわが聖なる山にこさせ、
 わが祈の家のうちで楽しませる、
 彼らの燔祭と犠牲とは、
 わが祭壇の上に受けいられる。
 わが家はすべての民の
 祈の家となえられるからである。」
- 8 イスラエルの追いやられた者を集められる
 主なる神はこう言われる、
 「私はさらに人を集めて、
 すでに集められた者に加えよう」と。



56

- 9 野のすべての獣よ、
 林におるすべての獣よ、来て食らえ。
 10 見張人らはみな目しいで、知ることがなく、
 みな、おしの犬で、ほえることができない。
 みな夢みる者、伏している者、
 まどろむことを好む者だ。」
- 11 この犬どもは強欲で、飽くことを知らない。
 彼らはまた悟ることのできない牧者で、
 皆おのが道にむかいゆき、
 おのおのみな、おのれの利を求めぬ。
 12 彼らは互に言う、
 「さあ、われわれは酒を手に入れ、
 濃い酒をあびるほど飲もう。
 あすも、きょうのようであるだろう、
 すばらしい日だ」と。
- 1 正しい者が滅びても、
 心にとめる人がなく、
 神を敬う人々を取り去られても、悟る者はない。
 2 正しい者は災の前に取り去られて、
 2 平安に入るからである。
 すべて正直に歩む者は、その床に休むことができる。

57



背信 (偽信礼拝)

57

- 3 しかし、あなたがた女魔法使の子よ、
- 4 森夫と遊女のすえよ、こちらへ近寄れ。
- 5 あなたがたは、だれにむかつて戯れをなすのか。だれにむかつて口を開き、舌を出すのか。あなたがたは背信の子ら、偽りのすえではないか。
- 6 あなたがたは、かしの木の間、すべての青木の下で心をこがし、谷の中、岩のはざままで子どもを殺した。
- 7 あなたは谷のなめらかな石を自分の嗣業とし、これを自分の分け前とし、これに灌祭をそそぎ、供え物をささげた。私はこれらの物によつてなだめられようか。
- 8 あなたは高くそびえた山の上に自分の床を設け、またそこに登つて行つて犠牲をささげた。
- 9 また戸および柱のうしろに、あなたのしるしを置いた。あなたは私を離れて自分の床をあらわし、それにのぼつて、その床をひろくした。また彼らと契約をなし、彼らの床を愛し、その裸を見た。
- 10 あなたは、におい油を携えてモレクに行き、多くのかおり物をささげた。またあなたの使者を遠くにつかわし、陰府の深い所にまでつかわした。
- 11 あなたは道の長いのに疲れても、なお「望みがない」とは言わなかった。あなたはおのが力の回復を得たので、衰えることがなかった。
- 12 私はあなたはだれをおじ恐れて、偽りを言い、私を覚え、また心におかなかつたのか。私が久しく黙っていたために、あなたは私を恐れなかつたのではなかつたか。
- 13 私はあなたの義と、あなたのわざを告げし示そう、しかしこれらはあなたを益しない。
- 14 あなたが呼ばわる時、あなたが集めておいた偶像にあなたを救わせよ。風は彼ら運び去り、息は彼らを取り去る。しかし私に寄り頼む者は地を繕ぎ、わが聖なる山をまもる。

57

- 14 主は言われる、
- 15 「土を盛り、土を盛つて道を備えよ、わが民の道から、つまり物を取り去れ」と。
- 16 いと高く、いと上なる者、とこしえに住む者、その名を聖となえられる者がこう言われる、
- 17 「私は高く、聖なる所に住み、また心砕けて、へりくだる者と共に住み、へりくだる者の霊をいかし、砕ける者の心をいかず。
- 18 私はかぎりなく争わない、また絶えず怒らない。
- 19 私は私から出、いのちの息は私がつくつたからだ。
- 20 彼のむさぼりの罪のゆえに、私は怒つて彼を打ち、わが顔をかくして怒つた。
- 21 しかし彼はなおそむいて、おのが心の道へ行つた。
- 22 私は彼の道を見た。
- 23 私は彼をいやし、また彼を導き、慰めをもつて彼に報い、悲しめる者のために、くちびるの実を造らう。
- 24 遠い者にも近い者にも平安あれ、平安あれ、私は彼をいやそう」と主は言われる。
- 25 しかし悪しき者は波の荒い海のように、静まることできないで、その水はついに泥と汚物とを出す。
- 26 わが神は言われる、
- 27 「よこしまな者には平安がない」と。

道 怒りいし



- 1 「大いに呼ばわつて声を惜しむな。あなたの声をラツパのようにあげ、わが民にそのとがを告げ、ヤコブの家にその罪を告げ示せ。
- 2 彼らは日々私を尋ね求め、義を行い、神のおきてを捨てない国民のように、わが道を知ること喜び。彼らは正しいさばきを私に求め、神に近づくと喜び。
- 3 彼らは言う、
「われわれが断食したのに、なぜ、ごらんにならないのか。われわれがおのれを苦しめたのに、なぜ、ごぞんじないのか」と。
見よ、あなたがたの断食の日には、おのが楽しみを求め、その働き人をことごとくしえたげる。
- 4 見よ、あなたがたの断食するのは、ただ争いと、いさかいのため、また悪のごぶしをもつて人を打つためだ。きよう、あなたがたのなす断食は、その声を上に乗えさせるものではない。
- 5 このようなものは、私の選ぶ断食であろうか。人がおのれを苦しめる日であろうか。そのこうべを葦のように伏せ、荒布と灰とをその下に敷くことであろうか。あなたは、これを断食となえ、主に受けいられる日と、となえるであろうか。

偽りの断食

- 6 私が選ぶところの断食は、悪のなわをほどこぎ、くびきのひもを解き、しえたげられる者を放ち去らせ、すべてにくびきを折るなどの事ではないか。
- 7 また飢えた者に、あなたのパンを分け与え、さすらえる貧しい者を、あなたの家に入れ、裸の者を見て、これを着せ、自分の骨肉に身を隠さないなどの事ではないか。
- 8 そうすれば、あなたの光が暁のようにあらわれ出て、あなたは、すみやかにいやされ、あなたの義はあなたの前に行き、主の栄光はあなたのしんがりとなる。
- 9 また、あなたが呼ぶとき、主は答えられ、あなたが叫ぶとき、
「私はここにおる」と言われる。
もし、あなたの中からくびきを除き、指をさすこと、悪い事を語ることを除き、
10 飢えた者にあなたのパンを施し、苦しむ者の願いを満ち足らせるならば、あなたの光は暗きに輝き、あなたのやみは真昼のようになる。
- 11 主は常にあなたを導き、良き物をもつてあなたの願いを満ち足らせ、あなたの骨を強くされる。
あなたは潤った園のように、
12 あなたの子らは久しく荒れすたれたる所を興し、あなたは代々やぶれた基を立て、人はあなたを「破れを繕う者」と呼び、「市街を繕つて住むべき所となす者」と呼ぶようになる。
- 13 もし安息日にあなたの足をとどめ、わが聖日にあなたの楽しみをなさず、安息日を喜びの日と呼び、
14 主の聖日を尊ぶべき日となえ、これを尊んで、おのが道を行わず、おのが楽しみを求めず、むなしい言葉を語らないならば、
15 その時あなたは主によつて喜びを得、私は、あなたに地の高い所を乗り通らせ、あなたの先祖ヤコブの嗣業をもつて、あなたを養う。
これは主の口から語られたものである。

真の断食



(義人は正しい)

Q-23:

- 1 見よ、主の手が短くて、救い得ないのではない。
- 2 ただ、あなたがたの不義が、あなたがたと、あなたがたの神との間を隔てたのだ。またあなたがたの罪が
- 3 あなたがたの手は血で汚れ、あなたがたの指は不義で汚れ、あなたがたのくちびるは偽りを語り、あなたがたの舌は悪をささやき、あなたがたも正義をもって訴え、
- 4 ひとりも正義をもって訴え、真実をもって論争する者がない。彼らはむなしきことを頼み、偽りを語り、
- 5 害悪をはらみ、不義を産む。彼らはまむしの卵をかえし、くもの巣を織る。その卵を食べる者は死ぬ。
- 6 卵が踏まれると破れて毒蛇を出す。その織る物は着物とならない。彼のわざは不義のわざであり、
- 7 彼らの手には暴虐の行いがある。彼らの足は悪に走り、罪のない血を流すことに速い。彼らの思いは不義の思いであり、
- 8 荒廃と滅亡とがその道にある。彼らは平和の道を知らず、その行く道には公平がない。彼らはその道を曲げた。
- 9 すべてこれを歩む者は平和を知らない。それゆえ、公平は遠くわれわれを離れ、正義はわれわれに追いつかない。われわれは光を望んでも、暗きを見、輝きを望んでも、やみを行く。
- 10 われわれは盲人のように、かきを手さぐりゆき、目のない者のように手さぐりゆき、真昼でも、たそがれのようにつまずき、強壯な者の中にあつても死人のようだ。われわれは皆くまのようにほえ、
- 11 はとのようにいたくうめき、公平を望んでも、きたらず、
- 12 救を望んでも、遠くわれわれを離れ去る。われわれのとがは、あなたの前に多く、罪は、われわれを訴えて、あかしをなし、とがは、われわれと共にあり、不義は、われわれがこれを知る。

Ps7:

義・公正・不義
アツラハ。

- 13 われわれは、そむいて主をいなみ、退いて、われわれの神に従わず、しえたげと、そむきとを語り、偽りの言葉を心にはらんで、それを言いあらわす。
- 14 公平はうしろに退けられ、正義ははるかに立つ。それは、真実は広場に倒れ、正直は、はいることができないからである。真実は欠けてなく、
- 15 悪を離れる者はかすめ奪われる。主はこれを見て、
- 16 公平がなかったことを喜ばれなかった。主は人のないのを見られ、
- 17 仲に立つ者のないのをあやしまれた。それゆえ、ご自分のかいなをもって、勝利を得、その義をもって、おのれをささえられた。
- 18 主は義を胸当としてまい、救のかぶとをその頭にいただき、報復の衣をまとって着物とし、熱心を外套として身を包まれた。
- 19 主は彼らの行いにしたがって報いをなし、あだにむかつて怒り、敵にむかつて報いをなし、海沿いの国々にむかつて報いをされる。
- 20 こうして、人々は西の方から主の名を恐れ、日の出る方からその栄光を恐れる。主は、せき止めた川を、そのいぶきで押し流すように、こられるからである。
- 21 主は言われる、「主は、あがなう者としてシオンにきたり、ヤコブのうちの、とがを離れる者に至る」と。
- 22 主は言われる、「私が彼らと立てる契約はこれである。あなたの上にあるわが霊、あなたの口においたわが言葉は、今から後とこしえに、あなたの口から、あなたの子らの口から、あなたの子らの子の口から離れることはない」と。

